

③ さわやかな地域社会

4

区役所のしごと

■横浜市の行政区の姿

横浜市には一四の区がある。五七年現在、最大の人口を持つのは戸塚区で四一万六〇〇〇人。緑区、港北区がこれに続く。逆に最も人口の少ないのは西区で、七万九〇〇〇人となっている。面積のうえで戸塚、緑の二区が約七七km²と大きく、最小の西区は六km²とその約一三分の一である。一四の区役所には約三九〇〇人の職員がおり、市民七二五人につき一人の職員が働いていることになる。

横浜市の区は行政区であり、東京都の特別区のように独立の法人格を有し議会や公

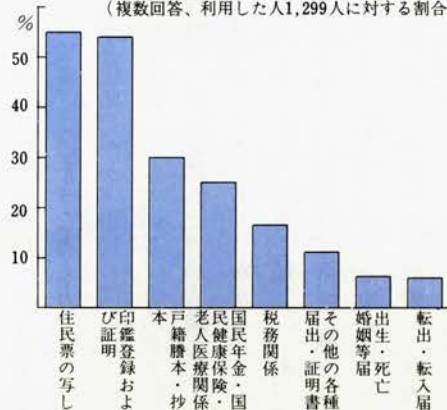
選の区長を持つ自治体とは異なっている。このため、区役所の業務は戸籍、保険年金、福祉関係の仕事を中心に比較的限られたものになっており、区内で行われる街づくりなどの多くの事業は、区との協議を行いなから市の各局の手で進められている。

■市民と区役所のかかわり

区役所は市政と市民との接点となるべき位置にあるが、市民は区役所とどのようなかかわりを持っているのであろうか。五六年に実施された「横浜市民の生活環境と行政に関する意識調査」の結果からみてみよう。

この調査によれば、年間に市民（二〇歳以上）の五分の四が何らかの形で区役所（または支所）を利用し、その用件は「住民票の写し」や「印鑑登録・印鑑証明」の請求がともに五割を超えている（図一）。また、調査対象となった市民の四一％が区役所に對する不満・要望を述べているが、このなかで窓口での対応や待ち時間など事務の運営についてのものが四二・四％と一番多くなっている（図一・二）。

図一 用件別区役所利用状況
(複数回答、利用した人1,299人に対する割合)



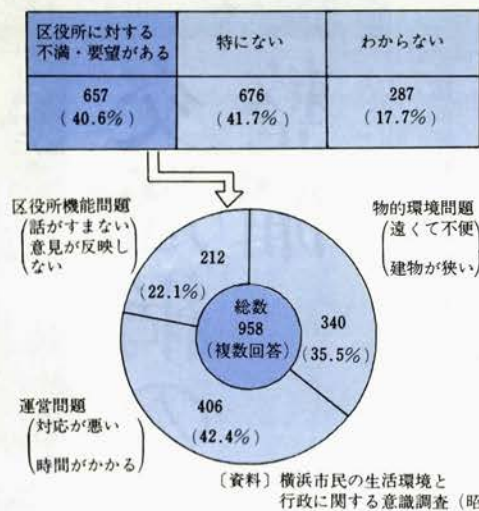
〔資料〕横浜市民の生活環境と行政に関する意識調査（昭和56年）

この結果にみられるように、市民と区役所のつながりは実態でも意識のうえで窓口業務が中心である。しかし、区役所に対する不満・要望のうち、区役所だけで話かすまないとような区役所機能の本質にかかわるものが二二・一％もあることは、現在の区の機能に対する不満と期待とをあらわしているといえる。

■区役所機能の充実

市では、このような市民の期待にこたえるため種々の施策を実施してきた。五六年

図-2 区役所に対する不満・要望の構造



五月の区政推進課の設置は、区内で実施される諸事業の調整、広報・広聴、相談など直接市民と対応する業務の改善・強化のためである。また、五五年七月には戸塚、緑の三支所において相談業務、市民の地域活動に関する業務などを行うこととし、市民の便宜を図ってきた。

組織の拡充に加えて、戸籍課関係証明書を取り扱う昼休み窓口の開設や、戸籍などの届書の記載指導にあたる窓口サービス員の配置など、市民サービスの充実に努めてきた。また、五八年度からは横浜駅に住

資料となるものである。

また、区と局が協力しながら「区の魅力づくり調査」、「道路の魅力づくり調査」、「区文化ゾーン形成基本調査」など区の特徴を

街づくりを区が中心となって考えていこうとする動きも活発である。中、緑、港北、神奈川など数区で作成されている地区カルテは、地域の状況を明らかにしたもので、区と市民が街づくりを考えるうえでの基礎資料となるものである。

区はそれぞれに地域的、歴史的特性を持っている。これからの区政、さらに区の街づくりにおいても、これらの特性を十分に生かして魅力的な区をつくっていくことが必要である。

五二年に始めた区自主事業もこの試みの一つである(表一)。各区において区民祭りなど区民の連帯意識を高める事業や、スポーツ祭り、文化祭、区政を考える会、区ガイドブックの刊行などの事業が活発に展開されている。

■特性を生かした街に

民票などの受付・交付を行う行政サービスコーナーの設置を予定している。

表-1 各区の主な自主事業 (昭和57年度)

| 区名 | 事業名 |
|-------|-------------------------------|
| 鶴見区 | 地域文化振興事業、歴史の散歩道設置事業 |
| 神奈川区 | 交通安全推進事業、区民音楽祭 |
| 西区 | 社会教育指導者育成事業、トリム運動推進事業 |
| 中区 | ヨコハマ風景美術祭、ゲートボール普及活動事業 |
| 南区 | 南区の現状(スライド)作成事業、地域文化推進事業 |
| 港南区 | 「ひとに迷惑をかけない運動」推進事業、区民の体力づくり事業 |
| 保土ヶ谷区 | ライフタウンほどかや、保土ヶ谷ふれあい祭り |
| 旭区 | 旭区民スポーツ祭、「旭区環境図集」づくり事業 |
| 磯子区 | 磯子文化の振興、文化祭 |
| 金沢区 | 家庭婦人スポーツ団体連絡会育成事業、金沢の寺社第3集の発行 |
| 港北区 | 地域スポーツ振興事業、郷土史編さん・刊行事業 |
| 緑区 | 郷土意識育成事業、郷土史研究事業 |
| 戸塚区 | 中学校文化祭、区内史跡地図刊行 |
| 瀬谷区 | 文化振興事業、ジョギングコース設定整備事業 |

〔資料〕市民局

生かした街づくりを進めるための調査も行われている。

五六年に発表された「よこはま21世紀プラン」では区別計画によって区の将来像を示しているが、このような実践的な活動によってその具体化が進められることが期待される。